

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2121 号

Clinicopathological features and endoscopic characteristics of inverted sessile serrated adenomas/polyps

(Inverted SSA/P の臨床病理学的特徴および内視鏡的特徴)

高島 健司 (たかしま けんじ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、InSSA/P と通常の SSA/P (0-SSA/P) を比較検討し、InSSA/P の臨床病理学的特徴および内視鏡的特徴を始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。大腸癌は、Adenoma-carcinoma sequence を介する腺腫由来の発癌が代表的であるが、近年、Serrated neoplastic pathway を介して発癌する鋸歯状病変が注目されている。その中でも、SSA/P 由来で急速に進行した大腸癌が報告されており大腸癌の前駆病変として注目されている。我々は、SSA/P の中で、内反性増殖を呈する SSA/P を inverted SSA/P (InSSA/P) と報告し注目している。今回、我々が検討した 104 症例の SSA/P 全例で、臨床病理学的に 0-SSA/P と InSSA/P に分類可能であった。InSSA/P の約 40% は EGT タイプであり、EGT は境界が明瞭な陥凹を有しており内視鏡的に診断可能であった。InSSA/P の癌化率は不明であるが、0-SSA/P と分子生物学的特徴が類似しており、0-SSA/P と同様の癌化率を有すると考えられる。InSSA/P の担癌症例に関する報告があり、病理組織学的に、粘膜下層への内反性増殖を特徴としている InSSA/P は、大腸癌への急速な進行を誘発するかもしれない。それゆえに、InSSA/Ps を正確に診断し切除することによって大腸癌の急速な進行を防ぐことができるかもしれない。

本論文は、InSSA/P が SSA/P の亜型であることを示し、また、InSSA/P の臨床病理学特徴、内視鏡所見および分子生物学的特徴を明らかとした。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。